

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、紹介率を高めることが就職件数の増加につながると判断し、まず、職員・相談員による勉強会を定期的を開催し、相談スキル、マッチング技術の向上を図りながら、紹介件数を増やしていく取組を進めました。

また、充足件数を増加させる取組として、求人者支援員が開拓した求人を中心に、希望職種が近い求職者にプラスワン紹介、求人情報の郵送等による情報提供を積極的に行い、紹介につなげ、充足させる取組を進めました。

こうした結果、紹介率については令和2年度 80.9%から令和3年度 87.7%へ、就職件数については令和2年度 2,247 件から令和3年度 2,481 件へ、充足件数については令和2年度 2,186 件から令和3年度 2,384 件へと、いずれも前年比より増加しております。

さらに、公的職業訓練の修了3か月後の就職件数を増加させるため、まず、入口の受講者を増やすことが重要と考え、職業訓練入校案内のリーフレットを作成し、春日井、小牧市役所に配架依頼及び市の広報、地元のフリーペーパー「ハピなび春日井」（121,150 部発行）、「小牧・豊山 NEWS」（65,900 部発行）、中日新聞「春日井くらしのニュース」（月2回 72,100 部新聞に折り込み発行）に情報掲載を依頼し、広く情報提供を行った結果、入校者数は令和2年度 241 人から令和3年度 275 人と増加し、訓練終了後の就職件数は令和2年度 167 件から令和3年度 198 件と大幅に増加しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

上記①で触れた勉強会において、ハローワーク総合評価についての研修も実施し、総合評価の意図、併せてハローワークの存在意義を理解してもらい、ハローワークの将来像、将来的に必要なスキルを理解させ意識啓発を行いました。

また、若手職員にはベテラン職員、相談員の相談技法を伝承する機会を設け、資質向上に向けた取組を行いました。

さらに、ハローワークに来所しない若年層に向けた情報提供、支援メニューの広報について、デジタルコンテツを積極的に活用し情報発信を行い、来所を促すため、若手職員を中心とした SNS チームを立ち上げ、スマホに対応したホームページの作成や LINE や YouTube を使用した情報発信をするため、切磋琢磨し、知識を身につけ最新情報を発信しています。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

庁舎の老朽化や狭隘、駐車場に対する近隣住民からの苦情という問題が山積していましたが、新庁舎への移転により、これらの問題が解決したことで、利便性が大幅に向上し、新規求職者数の増加につながっています。

また、各種リーフレット・ポスター類などの掲示物を配置、配架するスペースが大幅に拡大したことで、これまで雑多な印象でしたが、利用者別、目的別に応じた見やすい配置に改善出来ました。

上記(1)の②で触れました、若年層に向けたLINEやYouTubeの公式チャンネルを開設し、情報発信を開始しました。特に、LINEは「おともだち登録」も増加しており、求職者に向けてダイレクトにセミナーや面接会などの情報を届けています。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

今後は、オンライン紹介の促進により、来所する求職者が減少し、いかにハローワークのサービスを必要な人に届けることができるかが重要となってきますが、ハローワークを利用していない（利用したことがない。）層に向けて、ハローワークの支援メニューを知ってもらい、利用してもらえるようさらに情報発信に取り組んでまいります。

併せて、ハローワークシステムの刷新により、窓口利用者は今まで以上に就職困難者、情報弱者の割合が増加することが見込まれるため、こうした方々への支援を充実させるため、外部講師による障害者、高齢者、外国人、生活保護制度などの研修実施に取り組んでまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

ハローワークのあり方として、オンラインへの展開が求められる一方で、当所の求職者65歳以上の高齢者層の割合が県平均より高く、34歳以下の若年者層の割合が県平均より低いという特徴があり、窓口での相談ニーズが根強い傾向にありますので、求職者に寄り添った相談業務が求められています。

また、事務職、軽作業を希望する求職者が多い一方で、管内ではサービス業、製造業の求人が多くマッチングに課題があります。求職者にはキャリアコンサルティングを介したキャリアチェンジなど希望職種にとらわれず幅広く求職活動をする意識を、求人者には即戦力を求めがちな傾向が強いことから、人材育成を含めた幅広い人材を採用する意識を醸成できるよう取り組んでまいります。

2 特記事項

令和3年5月19日（水）～5月25日（火）新型コロナウイルス感染者多数のため、職業相談・紹介、求人検索、失業給付を行う庁舎1階を閉鎖

令和3年9月21日（火）新庁舎へ移転し業務開始

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	①生活保護受給者 等の就職率	①生涯現役支援窓 口での65歳以上 の就職件数	④ハローワークの 職業紹介により、 正社員に結びつい た就職氷河期世代 の不安定就労者・ 無業者の件数	⑧正社員求人数 (必須指標)	⑨正社員就職件数 (必須指標)
令和3年度実績	2,481	2,384	1,345	87.7%	41.1%	166	232	13,279	1,103
過去3年度平均	2,587	2,437	1,585	91.0%	55.0%	118	172	13,618	1,285
R2年度実績	2,247	2,186	1,676	80.9%	49.7%	137	172	10,730	1,031
対R2比	110%	109%	80%	108%	82%	121%	134%	123%	106%
R1年度実績	2,607	2,369	1,573	91.7%	61.3%	124		13,861	1,317
対R1比	95%	100%	85%	95%	67%	133%		95%	83%
H30年度実績	2,908	2,757	1,506	100.5%	53.3%	93		16,263	1,506
対H30比	85%	86%	89%	87%	77%	178%		81%	73%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。